

子牛の下痢を防ぎましょう！ ～牛のコクシジウム対策～

1 コクシジウムとは

血便の原因となる、寄生虫の一種です。

子牛の血便の原因となることが多く、ときに肥育牛に血便を起こすこともあります。

2 どのように感染するの？

- ・感染牛の糞便とともに排泄され、長期間生存しています。
- ・感染源は口から牛の体内に入ってきます。
- ・腸管内で増殖し、これに伴い腸管が傷つけられ血便となります。
- ・子牛は、血便～下痢となります。
- ・ビタミン制限中の肥育牛では抵抗性の低下のため、著しい血便となることもあります。

3 予防のポイント

感染源をおさえるポイントは以下の2点です。

(1) 感染源を減らす

① 汚染糞便の除去

② 糞便の除去とあわせてオルソ剤または消石灰の散布

コクシジウム以外の病原体もおさえられ、下痢予防に効果を発揮します。

(2) 感染源を増やさない

① 分娩は消毒をした清潔な環境で

② 分娩前の親牛の駆虫

- ・コクシジウムと同時に線虫の駆虫をお勧めします

③ 群飼では、同居牛も同時に駆虫

- ・1頭の発生でも、治療は全頭に。
以後の続発防止になります。



家畜保健衛生所では、病性鑑定として糞便検査も実施しております。
便の異常がありましたら担当獣医師に相談の上、ご依頼ください。

飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 Fax 32-9019 E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp

異常など確認された場合には、至急ご連絡ください。